

# 「よこはまでつながる 暮らしの日本語」10月・1月コース 実施報告

主催:(公財)横浜市国際交流協会

近年、日本に来る外国人の増加とともに、学習スタイルも多様化しています。このオンライン教室は曜日や時間、テーマを変え年3コースを実施しました。より多くの学習者に勉強の機会を提供することと学習者の「毎日の生活の中で日本語でできることを増やす」ことを目的とした教室です。



文部科学省の「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」(通称「つなひろ」)を教材に使用しました。

「つなひろ」の動画を使い、場面の理解と状況・場面に相応しい言葉・フレーズを聞くだけでなく、講師とサポーター、他の参加者との会話を楽しんだり、生活に密着した生の日本語のやり取りを聞いたりしました。

このコースには、地域日本語教室で活動している方が、サポーターとして参加しました。学習者の「日本語を使いたい」「もっと話したい」をサポートしようと、学習者と直接会話をしたり、質問に答えたりもしました。

これからも、学習者が自分のことを自分の言葉で話すことを支援していきます。

## 「横浜でつながる 暮らしの日本語」10月・1月コーステーマ・概要

10月コーステーマ「買い物」 		1月コーステーマ「健康・安全」 	
第1回(10/3) : 買い物に行こう 第2回(10/10) : ほしいものを選ぼう 第3回(10/17) : コンビニを使おう 第4回(10/24) : 電話で聞いてみよう 第5回(10/31) : 私のおすすめを紹介してみよう		第1回(1/8) : 病気を予防する 第2回(1/15) : 病院へ行く 第3回(1/22) : 薬を買う 第4回(1/29) : 天気的情報を調べる 第5回(2/5) : 災害にそなえる	
日時 場所	2024年10月3日・10日・17日・24日・31日 全5回 木曜日 10:00~11:15 (75分) オンライン(Zoom)	2025年1月8日・15日・22日・29日、2月5日 全5回 水曜日 14:00~15:15 (75分) オンライン (Zoom)	
講師 参加人数	・郡 廣子さん ・藤岡葉子さん  2人 (のべ10人)	・小野里香さん ・金子聖子さん ・郡 廣子さん 3人 (のべ10人)	
学習者 参加人数	・横浜市内に住んでいる人・働いている人・横浜の学校に通っている人 ・ひらがなが読める人 ・日本語で簡単な会話ができる人		
	参加人数 : 14人 (のべ50人) 国・地域 (中国4、ブラジル3、インド2、台湾1、イギリス1、タイ1、インドネシア1、日本1)	参加人数 : 13人 (のべ50人) 国・地域 (中国2、ウクライナ2、インド1、台湾1、イギリス1、ケニア1、インドネシア1、フランス1、ネパール1、モザンビーク1、パキスタン1)	
サポーター 参加人数	・横浜市内地域日本語教室で活動している方		
	参加人数 2人(のべ10人)	参加人数 6人(のべ10人)	



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします!



# 「よこはまでつながる 暮らしの日本語」10月・1月コース 実施報告

主催:(公財)横浜市国際交流協会

## 活動の主な流れの例(テーマ 健康と安全「薬を買う」)(75分)(1月22日)

(ゴール:・ドラッグストアでのやり取りを理解し、状況や場面に相応しい言い方を話すことができる・実際の生活の中で話をすることができる)

### 1 全体活動 (20分)

ウォーミングアップとして、テーマと関係があるドラッグストアについて話しました。ドラッグストアのイラストを見て、「見たことがありますか?」(はい、あります)、「どんなところですか」(薬を買える店)、「家の近くにあるドラッグストアの名前は?」(〇〇があります)(△△・・・があります)(名前を覚えていません)など、また、「何を買いましたか」の質問には、(頭が痛いときのくすり)、(石鹸)・・・などたくさんやり取りをしました。

さらに、薬の形(剤形)について、錠剤やカプセル、粉薬などイラストを見ながら、よびかたを確認しました。このような活動を通して、本日のテーマについて理解すると共に、とても話しやすい雰囲気になりました。

### 2 グループ活動 (30分+10分)

各回のグループ活動は2回行いました。1回目のグループ活動(約30分)では、2つのグループ(講師・サポーター・学習者4~5人で一つのグループ)に分かれ、「くすりがほしいです」のシーンを使い活動を行いました。

1回目の動画視聴後は、聞きとれた単語やフレーズを話しました。「貼る薬」「腰痛用の湿布」のような単語・簡単なフレーズや「腰が痛いので腰痛用の薬を買いたいです」など長めのフレーズ、「シナリオが分かりました」と、自分の言葉でシーンのおまかな内容を説明してくれたりしました。2回目の動画視聴では、内容の確認、大意を把握するなどしました。

学習者が答えに詰まったときは、講師とサポーターで会話を行いました。例えば、「どうして〇〇さんはドラッグストアに行きましたか。」に対し、サポーターが理由を説明しました。このようなサポーターの話し方をきくことで、自然な日本語のやり取りに触れる機会となりました。

2回目のグループ活動(約10分)では1グループあたり、講師又はサポーターと学習者2~3人の計4グループに分かれ活動しました。

学習者は1回目のグループ活動の中で理解できなかった言葉や話し方、疑問に思ったことについて質問したり、ペアでロールプレイをしながら理解を深めました。少ない人数なので、話す機会も増えたと思います。

### 3 全体活動 (15分)

最後の全体活動では、「薬局で薬を買ったことはありますか」「どんなときに買いましたか」「どんな薬を買いましたか」といった質問に対し、勉強した言葉を使って自分が経験したことを話したり、他の学習者とペアでやり取りしたことやとグループ活動の中で触れたことを皆さんの前で発表しました。

また、教室活動で印象に残ったことばやフレーズを学習者が書く時間を設けることで、自分自身の学習の振り返りにつながり、自律学習への一助になるようにしました。

### 学習者の声

- ・日本の文化・習慣で分かることが増えた。生活に必要な情報を集めることが増えた。
- ・今後、(市・区)役所での手続きができるようになりたい。・もっと友達や知り合いと話したい。

### サポーターの声

- ・どんなレベルの人でも何かを学べる場所でした。
- ・学習内容を押し付けることなく、でも導いているところが良かった。
- ・トピックスがちょうど今の時期にピッタリだったし、学習者にとって身近なことだった。みんなで確認できてよかった。

### 講師の声

- ・他の教室より発話時間が多く取れるところがいい。人数が多いので、全体では話せる時間が少なくなるが、2回目のグループ活動でサポーターも参加し少人数で発話できたのがいい。
- ・学習者が自分の話したいことを話せる場になっているのが良かった。
- ・最初の全体活動を通して、学習者が話したいというわくわくしている気持ちのまま、グループ活動にいかけて良かった。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします!